

神田須田町二丁目町会青年部 開催

神田祭に 参加してみよう

勉強会⑤ 04/02 (水)

先々週、神輿装束購入ツアーを行いました。徐々に品切れが出ていました。購入するならお早めに！



はじめに 神田祭とは

東京都千代田区の神田明神で行われる祭礼のこと。「神田明神祭」とも呼ばれ、山王祭（千代田区・赤坂日枝神社）、深川八幡祭（江東区・富岡八幡宮）と並んで江戸三大祭の一つとされている。

京の祇園祭、大阪の天神祭と共に日本の三大祭りの一つにも数えられる。 -Wikipedia



開催期間

2年に一度、西暦の奇数年に開催

2025年（令和7年）、当町会では**5/9（金）～11（日）の3日間**巡行し、

10（土）は柳森神社・11（日）は神田明神に宮入します



■参考：近年の神田祭開催状況

2009(平成21)年→○
2011(平成23)年→×：東日本大震災
2013(平成25)年→○
2015(平成27)年→○：御遷座400年奉祝大祭
2017(平成29)年→○
2019(令和元)年→○：天皇陛下御即位奉祝記念祭
2021(令和3)年→×：コロナ
2023(令和5)年→○：コロナ5類化すぐ
2025(令和7)年→今回

町内にある、柳森神社について

長禄2年（1458年）**太田道灌**が

江戸城の鬼門除として現在の佐久間町一帯に

植樹した柳の森に鎮守として祭られたのがはじまりとされ、万治2年（1659）に神田川堀割の際に現在地に移りました。柳の樹も堀の土手に移植され、江戸の名所になりました。境内の福寿社は「お狸さん」とよばれ、五代将軍綱吉の生母**桂昌院**が江戸城内に創建したといわれています。境内の13個の力石群が千代田区の有形民俗文化財に指定されています。

※千代田区観光協会「柳森神社」観光案内文より

ご祭神：宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）

⇒伏見稲荷大社の主祭神。同社から勧請。



帯の結び方、神輿装束の着方（復習）

■股引（またひき）の履き方

<https://matsurijuku.com/momohiki/>

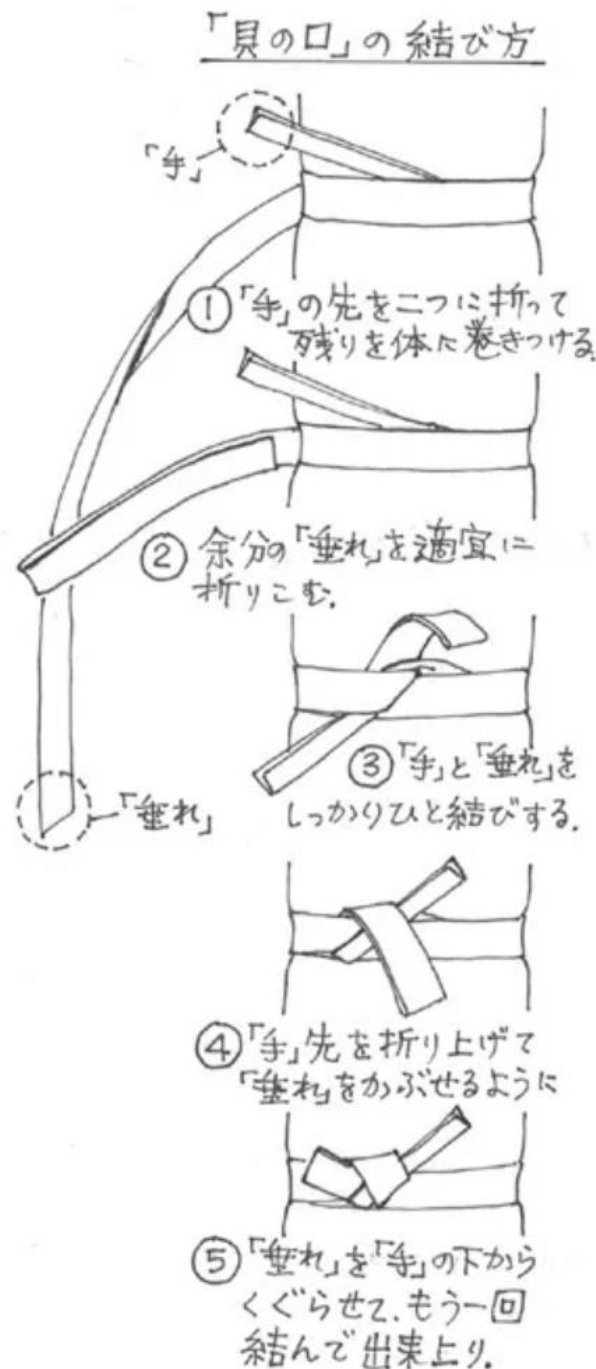
■鯉口（こいくち）・ダボシャツの着方

<https://matsurijuku.com/dabokikata/>

※鯉口は7分袖のシャツの袖口が絞ってあるもの、ダボシャツは袖が寸胴型。お好みで

■帯の締め方

<https://matsurijuku.com/obi/>

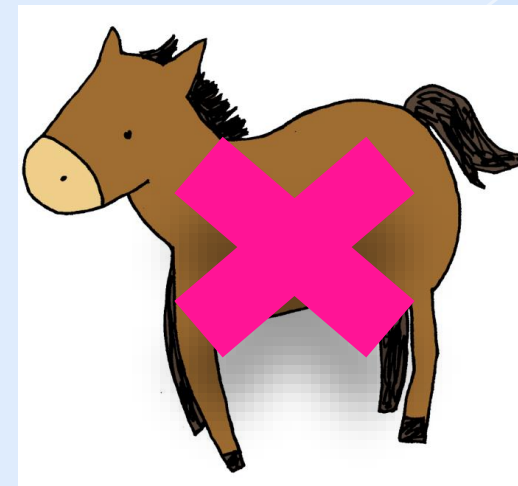
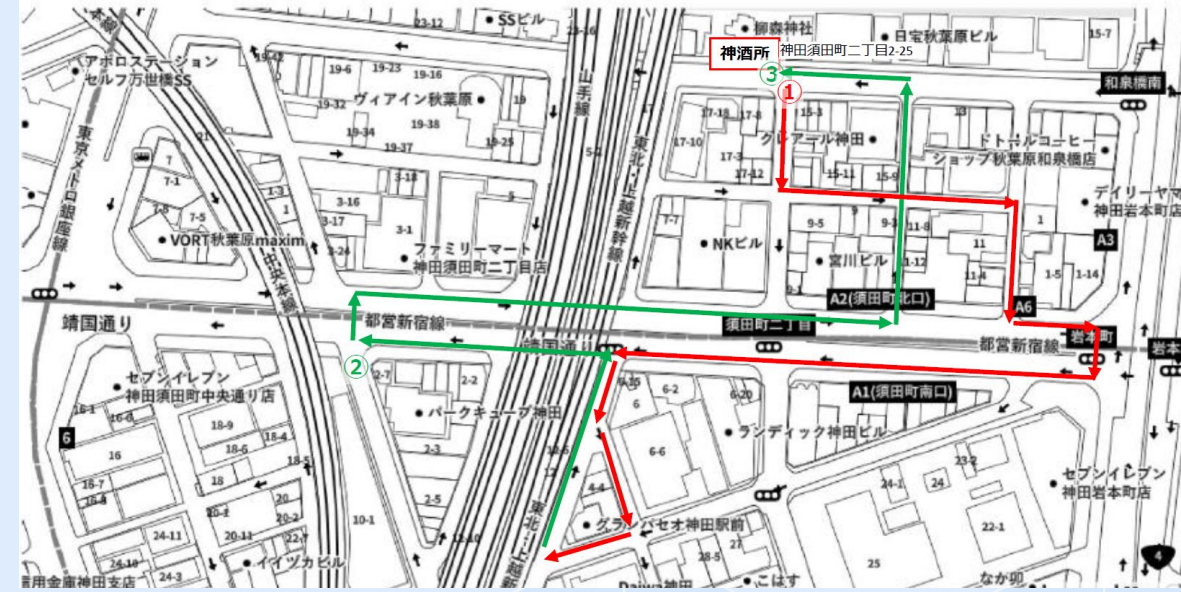


+a 粋に着こなすコツ

- ①前で結んだあとは時計回りに帯を回す（逆に回すと着崩れる）
- ②帯の結び目は背中を中心線から少し外す
- ③帯の重なる部分は一本に見えるよう、揃える
- ④背中の大紋が真っ直ぐになるよう整える
- ⑤腰骨まで帯を下げる
※緩まなくなります
- ⑥前目は下げ、結び目は少し上げる
- ⑦背中の大紋にシワが入らない様、両腰骨辺りで余った生地を絞る

神輿の巡行についての留意点

- 朱引(<しゅびき>=神輿巡行図)に基づき、神輿は町内をくまなく回ります
- 担ぎ始め・担ぎ終わりに神輿責任者が馬(注)に乗り、拍子木(柝<き>)を鳴らします
- 担ぎ終わりにには神輿を馬に下ろした後、手締めを行います



担ぎ棒の担ぎ方（追加）

- 肩と首の根元にピッタリ当てる様にして担ぎます
- 神輿の台輪に近いほど、担ぎ棒がしなり、低くなっています
- 自分の身長にあった場所で、リズムに合わせましょう
- 前の人足の運びを同じにすると、足を踏まれません
- 腰と背中が担ぎ棒と直角になるよう、棒に入ります
- 両膝を曲げる・伸ばすが基本の動き。腰は左右に振りません
- 両膝が伸びた時に、後ろの足を半歩前に運びます
- 膝頭は外に開かず、真っ直ぐ足を運びます

日常のトレーニング

- 祭礼日はひたすら歩きます。2万歩/日程度歩くので、日頃からよく歩くよう心がけて下さい
- お神輿を担ぐためには、体幹と太もも（ハムストリング）がしっかりしていると、体がブレず、キレイに担げます。ハーフスクワットを取り入れると良いでしょう

<https://ys-gymbeauty.jp/archives/5508#:~:text=%E8%85%95%E3%81%AE%E7%AD%8B%E8%82%89%EF%BC%88%E4%B8%8A%E8%85%95%E4%BA%8C,%E3%81%AB%E3%80%81%E8%85%B9%E7%AD%8B%E3%81%AF%E9%87%8D%E8%A6%81%E3%81%A7%E3%81%99%E3%80%82>